

## 平成29年度 第1回 職務執行状況報告について

理 事 長 小野寺 眞 悟

業務執行理事 小野寺 裕 司

平成29年4月から、北海道知的障がい特別支援学校長会嗟峨 豪会長のご協力を得て、各知的障がい特別支援学校に、当法人各事業への参加等希望調査を行いました。このほどその結果を整理することができましたので、ご報告申し上げます。

まず、定款第4条1号事業の「フットサルボール及びポップアップゴールの寄贈」につきましては、次のような希望となっております。

定款第4条2号事業につきましては、次の16校が参加する予定で調整を進めております。平成29年度は、高等支援学校・高等養護学校・高等聾学校の参加ですが、来年度は小中学部に併設された高等部校も出場する部を設けますので、約40校を想定して準備を進めています。

なお、韓国の特別支援学校は、希望による特別参加として、道内校と同様の条件で出場します、

札幌高等養護学校、 札幌稲穂高等支援学校、千歳高等支援学校、白樺高等養護学校、  
新篠津高等養護学校、函館五稜郭支援学校、 今金高等養護学校、紋別高等養護学校、  
新得高等支援学校、 中札内高等養護学校、 中札内高等養護学校幕別分校、  
中標津高等養護学校、市立豊明高等支援学校、市立札幌みなみの杜高等支援学校、  
北海道高等聾学校、韓国安東永明学校

また、本事業大会の開催を特別支援学校として、安定的にできるよう、次を組織しました。

定款第4条3号事業につきましては、北海道八雲養護学校行う筋ジストロフィ児などを対象にした健康等増進のためのスポーツ活動への助成をすることで、平成28年度第4回理事会においてご審議頂いたところで、5月末に助成の手続きをしました。

定款第4条4号事業は、2事業を予定しており、まず「寄宿舍指導員等フットサル研修会」開催事業は、来年3月開催予定ですので、今回の職務執行状況報告にてご報告申し上げます。2点目の「フットサル指導等に係る実践研究」指定校事業につきましては、北海道稚内養護学校「知的障がい特別支援学校でのフットサル指導の実践と可能性」、北海道中札内高等養護学校「高等養護学校におけるフットサル指導等に係る工夫・実践」、北海道紋別高等養護学校「エスポラーダ北海道OBなど外部指導者の活用や指導方法の工夫」の3校の実践研究への年間10万円の研究助成を致します。本実践研究においては、その成果を報告書として整

理・印刷して、道内閣特別支援学校に配布して、特別支援学校でのフットサル指導を活発化する基盤整備にしたいと考えております。

今回の職務執行状況報告は、当法人の予定している平成29年度各事業の進捗をお伝えしました。今後も理事の皆様方のご指導ご支援を頂きながら、道内の特別支援学校で学ぶ障がいのある児童生徒の健康増進、体力・運動能力を高め、より一層、卒業後の自己実現を図るための就労等が可能になるよう努めてまいります。